

人文学部

School of Humanities

人文学部の情報や
詳しいカリキュラムは
こちらから



人文学部
五福キャンパス



全ては「人」から始まる。

富山大学人文学部には、伝統的、基礎的な哲学、歴史、文学に関する分野のほか、現代社会の諸問題を扱う社会学や国際関係論、また同規模の人文学系学部では比較的珍しい心理学、考古学、文化人類学、人文地理学、朝鮮言語文化、ロシア言語文化などの分野もあり、多様な選択肢が用意されています。

1年次は教養教育科目と基礎的な専門科目を学びながら、進みたい分野を模索し、2年次からは、学びたい分野で、本格的な専門教育を受けることができますし、幅広い視点で学際的な学び方をす

とも可能です。

人文学部はまた、異文化理解・異文化交流を教育研究の柱として、中国・台湾・韓国・ロシア・アメリカ・フランス等の大学および研究機関と交流協定を結び、積極的に学生の海外派遣や留学生受け入れを推進して、国際化の時代に活躍が期待できる人材を育成しています。

少人数・対話型の充実した教育により、学生の学修を支援し、社会人としての自立をサポートします。

学部長からのメッセージ

まだ見ぬ人びととの出会いを求めて

富山大学人文学部は、大正12年(1923)に設立された旧制富山高等学校に源流があります。その後、新制大学の富山大学文理学部、人文学部となり、発展してきました。現在、8つのコース、21の教育研究分野を有しています。学ぶことのできる分野には、哲学、歴史学、文学、言語学といった伝統的な学問から、現代社会の諸課題に対応する心理学コースや社会文化コースなどがあり、まさに多様性に富んだ学び舎といえるでしょう。その中には、朝鮮言語文化やロシア言語文化などのように地理的な特性を生かした学問分野もあります。

そのように多様性に富んだ富山大学人文学部ではありますが、見方を変えると、学ぶ対象はひとつとも言えるでしょう。それは人間です。人文学部では、日本、そして富山という地域に生きる人

たちの営みを研究することもできますし、英語・フランス語・ドイツ語・中国語・朝鮮語・ロシア語などの外国語を身に付けて遠い異国に留学し、そこに暮らす人たちの営みを研究することもできます。また、石器に生活の印を留めた人たち、書物の中に生命の痕跡を残した人たち、いまあなたのとりに生きている人たちのことを研究することもできます。そう、人文学部では、時空を隔てた、さまざまな人々との出会いがあるのです。そして、その人たちの人生に思いを馳せることができるのです。

さあ、みなさん、想像の翼を伸ばしてみませんか。富山大学人文学部は、そんなみなさんのワクワク、ドキドキをサポートしていきます。

人文学部長 齊藤 大紀



入学定員：人文学科 [188人]

哲学・人間学コース



- 哲学
- 人間学

思想家たちに学びつつ
自分自身で考えよう。

歴史文化コース



- 日本史 ● 東洋史
- 西洋史 ● 考古学

「史料」や「遺跡」をもとに、
あらゆる時代、あらゆる場所へ。

心理学コース



- 心理学

「こころ」のメカニズムを
解明する。

社会文化コース



- 国際関係論 ● 社会学
- 人文地理学 ● 文化人類学

社会の営み、そのからみあう糸を
解きほぐした先に見えるものとは。

言語学コース



- 言語学

ことばに科学的にアプローチ。

東アジア言語文化コース



- 日本語学 ● 日本文学
- 朝鮮言語文化 ● 中国言語文化

日本海を抱く東アジアの、ことばと
文化。

英米言語文化コース



- イギリス言語文化
- アメリカ言語文化

イギリス文学の古典から現代アメリ
カ映画やヒップホップまで、英米言
語文化を縦断する。

ヨーロッパ言語文化コース



- ドイツ言語文化 ● フランス言語文化
- ロシア言語文化

深い言語の知識をもって、
豊富なヨーロッパの文化に迫る。

このような人を求めています

人文学諸分野に知的関心を持ち、柔軟な思考力・幅広い視野・国際感覚を身に付けることを目指して人文学を幅広く深く学びたいと考え、そのために必要な基礎的能力を持つ人を求めます。

● 入学受入れの方針(アドミッション・ポリシー)より
※各ポリシーの全文は、本学ウェブサイトに掲載しています。

このような教育を行います

人間に対する理解を深め、社会人として自立することができるような教育を行います。1年次に教養科目とともに基礎ゼミナール・人文学の入門科目を提供します。人文学の研究を通して人間のあり方を探求するために、2年次以降、講義・講読・演習・実習・実験等の専門科目を提供し、4年次には卒業研究指導を行い、人間や社会に対する深い洞察力や柔軟な思考力を身に付け、新しい知見や価値を生み出せるように導きます。

● 教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)より

このような人を育てます

人文学の知の遺産を継承して幅広く普遍的な知識を持ち続け、異なる文化や考え方についても理解があり、情報発信力・問題発見能力を有し、社会における自らの役割を果たすことのできる人を育てます。

● 卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)より

学修の流れ

人文学部では、所属コース以外他領域の授業も受けて幅広い知識を学ぶ「学際」型と、所属コースの授業を集中して受けてより深い専門知識を学ぶ「専門補強」型の二つの型での学修が可能です。

「学際」型

所属コースカリキュラム+多領域プログラム

専門基礎・専門深化(専門基礎から卒業研究)

多領域授業プログラム

多領域の授業

「専門補強」型

所属コースカリキュラム+所属コース関連領域プログラム

専門基礎・専門深化(専門基礎から卒業研究)

関連領域授業プログラム

関連領域の授業

取得可能な 免許・資格

- 中学校教諭一種免許状 (国語・社会・英語)
 - 高等学校教諭一種免許状 (国語・地理歴史・公民・英語)
 - 学芸員
 - 認定心理士
- ※所定科目の単位を修得することが条件です。

主な就職先 (2022年度卒業生)

- 三協立山 ● 北日本新聞社 ● チューリップテレビ ● 北陸銀行 ● 富山銀行 ● 富山第一銀行 ● 日本年金機構
- 国立大学法人富山大学など
- 教員(富山県、石川県など)
- 公務員(富山県庁、福井県庁、長野県庁、北海道庁、富山市役所、高岡市役所、射水市役所、小矢部市役所、金沢国税局、警視庁など)
- 富山大学大学院、北海道大学大学院、奈良女子大学大学院

〈主な進学先〉